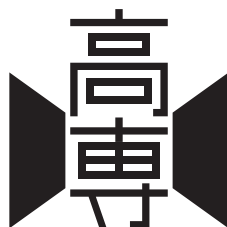


平成 24 年 度

# 編入学者募集要項

入 学 案 内



願書受付期間	平成23年7月25日(月)～7月29日(金)
検 査 日	平成23年8月23日(火)
合格発表日	平成23年8月26日(金)

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
**国立八戸工業高等専門学校**

HACHINOHE NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16の1

電 話 (0178) 27-7234

F A X (0178) 27-9487

ホームページ <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス [kyoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp](mailto:kyoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp)

# 目 次

○ 八戸高専とは	1
○ 編入学者募集要項	
1. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次	2
2. 出願資格	2
3. 志望学科	2
4. 出願手続	3
5. 選抜方法	4
6. 携 帯 品	4
7. 合格者の発表	4
8. 入学手続等	5
9. 身体に障害を有する入学志願者の事前相談	5
10. 個人情報の取り扱いについて	5
• 学力検査の出題範囲	6
○ 学習・教育目標	7
○ 産業システム工学プログラムの履修	8
○ 入 学 案 内	
1. 本校の目的と性格	9
2. 創 設	9
3. 修業年限・学生定員等	9
4. 学科の紹介	9
5. 課 外 活 動	10
6. 学 寮	11
7. 編入学時に要する経費（予定）	11
8. 入学料・授業料及び寄宿料免除等制度	11
9. 奨 学 金 制 度	11
10. 卒業後について	12
(1) 卒業後に取得できる主な資格	12
(2) 就 職	12
(3) 進 学	14
○ 検査場案内図	

# 八戸高専とは

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため4学科3専攻を一体化させた「産業システム工学」という複合的技術者教育プログラムにより、具体的な学習・教育目標を設定して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

## 教育方針

豊かな教養を基盤として、高等の専門技術科学を体得せしめ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する技術者を養成することを教育理念としています。

本科の工学基礎教育の上に専攻科の工学教育を通して、創造力と開発能力を兼ね備えた実践的技術者を育成します。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

### ○ 養成しようとする技術者像

本校が、養成しようと考えている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的な技術者」です。

### ○ 学習・教育目標（後述、7頁参照）

### ○ 産業システム工学プログラムの履修（後述、8頁参照）

## アドミッションポリシー

本校の教育方針にふさわしい学生を募集するため、学生募集の理念と入学者選抜方針いわゆるアドミッションポリシーを以下の通り設定し、次のような「ものづくり」に興味を持ち、将来優れた技術者として社会に貢献することに熱意を持った学生の入学を期待しています。

1. 他人への思いやりができ、誠実で責任ある行動が取れる人
2. 高等学校において、工業の基礎を修得した人
3. 本校の教育目標を理解し、その目標に向かって努力する人
4. 技術を通して社会に貢献する熱意がある人
5. 自ら対話しようとして心がける人

# 平成24年度編入学者募集要項

## 1. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次

学 科	募 集 人 員	編入学年次
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 情 報 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
物 質 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
建 設 環 境 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年

## 2. 出 願 資 格

次に掲げる者で、在籍（出身）高等学校長が推薦する者とする。

- (1) 工業高等学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者。
- (2) 高等学校の工業等に関する学科を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者。
- (3) 総合高等学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者で、電気情報工学科、建設環境工学科を志望する者。ただし、関係専門科目を修得した者又は修得見込みの者。

## 3. 志 望 学 科

前項に該当する志望学科は、次のとおりとする。

出 願 者 の 在 籍 し て い る 科 又 は 卒 業 し た 科 ( 同 系 統 の 科 を 含 む )	出 願 者 の 志 望 で き る 学 科
機 械 工 学 科 電 子 機 械 科 材 料 技 術 科	機 械 工 学 科
(A) 電 気 工 学 科 電 子 機 械 科 情 報 技 術 科 (B) 総合高等学校で関係専門科目を 修得した者又は修得見込みの者。 (注参照) (C) 電気、電子、電子機械、情報 技術関連分野の学科	電 気 情 報 工 学 科
工 業 化 学 科 化 学 工 学 科	物 質 工 学 科
(A) 土 木 科 (B) 総合高等学校で関係専門科目を 修得した者又は修得見込みの者。 (C) 建設環境関連分野の学科 (農業土木科、海洋開発科、建築科など)	建 設 環 境 工 学 科

(注) 一般選択科目では、可能な限り数学系の科目を選択していることが望ましい。

## 4. 出願手続

### (1) 願書受付

- ① 期 間 平成23年7月25日(月)から7月29日(金)まで  
郵送の場合も、期間内必着とします。  
(注)郵送の場合は、必ず速達書留とし封筒の表に「編入学願書在中」と  
朱記してください。
- ② 時 間 午前9時から午後4時まで
- ③ 場 所 八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係  
〒039-1192 八戸市田面木字上野平16-1  
TEL(0178)27-7234

### (2) 出願書類等

編入学志願者は、次の書類等を完備のうえ、一括して在籍(出身)高等学校長を経由して、本校学生課入試・教務係に提出してください。

①・編入学願書 ・写真票・受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、写真票に貼付する写真は、平成23年6月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽の縦6cm×横4.5cmの大きさのもの。
②推 薦 書	本校所定の用紙を使用し、在籍(出身)高等学校長が記入したもの。
③調 査 書	在籍(出身)高等学校長が証明し、厳封したもの。
④卒業見込証明書 又は卒業証明書	在籍(出身)高等学校長が証明したもの。
⑤返信用封筒	受検票送付用ですから、本校所定の封筒に80円切手を貼り提出してください。
⑥検 定 料	16,500円 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等(ゆうちょ銀行を除く。)にて振込み、「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。
⑦受 検 承 諾 書	既に就職している者又は大学に在籍中の者については、その所属長の「受検承諾書」を本校校長宛に提出してください。 様式は任意です。
⑧登録済証明書	外国人は、出願に際し市町村長発行の「外国人登録済証明書」を提出してください。

(注1)③と④の書類については、在籍(出身)高等学校所定の用紙を使用してください。

(注2)受検票が8月4日(木)までに届かない場合は、本校学生課入試・教務係へ問い合わせてください。

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

## 5. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、学力検査の成績、在籍（出身）高等学校からの調査書及び面接を総合して行います。

### (1) 学 力 検 査

- (ア) 学力検査は筆記試験です。  
 (イ) 出題する科目は、次のとおりです。

志 望 学 科	一般科目	専 門 科 目	備 考
機 械 工 学 科	英 語	(A) 物理Ⅰ、Ⅱ・機械設計・機械工作	機械科・電子機械科に在籍する者(又は卒業者)
		(B) 物理Ⅰ、Ⅱ・工業材料・材料加工	材料技術科に在籍する者(又は卒業者)
電 気 情 報 工 学 科	数 学	(A) 電気基礎(電気基礎の中で、各種の波形、三相交流を含む)	いずれかを選択すること。
		(B) 電気基礎(電気基礎の中で、各種の波形、三相交流を除く)情報技術	
物 質 工 学 科	作 文	工業化学・化学工学	
建設環境工学科		土木構造力学・水理及び土質	

(注) 学力検査の出題範囲は、別表(6頁)のとおりです。

(ウ) 学力検査及び面接の日時(志望学科にかかわらず同一日程です。)

期 日	時 間				
8月23日(火)	9:00~9:50	10:00~11:00	11:10~12:40	13:30~15:00	15:10~
	作 文	英 語	数 学	専門科目	面 接

(注) 午前8時30分までに本校の指定する場所に集合してください。

(エ) 学力検査等の実施場所 八戸工業高等専門学校

(2) 面 接 学力検査終了後、志願者全員に対して面接を行います。

## 6. 携 帯 品

- (1) 受 検 票  
 (2) 筆記用具等 鉛筆・消しゴム・鉛筆削り・直定規・コンパス  
 (3) 昼 食 学生食堂で弁当等を販売しています。  
 (4) 上 履 必要ありません。

## 7. 合格者の発表

- (1) 発表日時 平成23年8月26日(金) 午後3時  
 (2) 発表方法 合格者を本校に掲示するとともに、在籍(出身)高等学校長宛に郵送します。  
 また、午後3時以降に本校のホームページ(<http://www.hachinohe-ct.ac.jp>)に合格者の受検番号を掲載します。  
 なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

## 8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を平成23年9月9日(金)午後5時必着で八戸工業高等専門学校学生課入試・教務係へ提出して下さい。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

## 9. 入学手続等

入学手続等については、後日通知します。

## 10. 身体に障害を有する入学志願者の事前相談

身体に障害を有する志願者で、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ電話等で本校学生課入試・教務係まで申し出て下さい。

相談の時期 平成23年7月19日(火)まで

連絡先 八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係 TEL 0178-27-7234

## 11. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

## 別表

## 学力検査の出題範囲

学 科	科 目	学 力 検 査 の 範 囲	
各 学 科 共 通 (一般科目)	英 語	1. 総合英語 2. 異文化理解	
	数 学	1. 数学Ⅰ (1) 方程式と不等式 (3) 図形と計量 (2) 二次関数 2. 数学Ⅱ (1) 式と証明・高次方程式 (3) いろいろな関数 (2) 図形と方程式 (4) 微分・積分の考え 3. 数学A (1) 平面図形 (3) 場合の数と確率 (2) 集合と論理	
	作 文	課題を課し、800字程度にまとめる	
機 械 工 学 科	共通	物 理 Ⅰ	1. 運動とエネルギー
		物 理 Ⅱ	1. 力と運動
	(A)	機 械 設 計	1. 機械に働く力 3. 機械要素と装置(伝達装置) 2. 材料の強さ
		機 械 工 作	1. 機械材料 2. 各種の工作法
	(B)	工 業 材 料	1. 工業材料の性質と構造 3. 工業材料の製造 2. 工業材料の検査
		材 料 加 工	1. 工業材料の加工
電 気 情 報 工 学 科	(A)	電 気 基 礎	1. 直流回路 3. 交流回路 5. 各種の波形 2. 磁気と静電気 4. 電気計測 6. 三相交流
	(B)	電 気 基 礎・ 情 報 技 術	1. 直流回路 3. 交流回路 5. 情報技術 2. 磁気と静電気 4. 電気計測
物 質 工 学 科	工 業 化 学	1. 地球と化学 3. エネルギーと化学変化 2. 水と化学 4. 石油と化学	
	化 学 工 学	1. 物質とエネルギーの収支 2. 単位操作(流体の輸送)	
建 設 環 境 工 学 科	土 木 構 造 力 学	1. 応力と材料の強さ 5. 梁に生じる応力 2. 力の釣合い 6. 梁のたわみ 3. 静定梁の断面力 7. トラス 4. 部材断面の性質	
	水 理 及 び 土 質	1. 水理 (1) 静水圧 (3) 流れの連続性 (2) 開水路と管水路 (4) ベルヌーイの定理 2. 土質 (1) 土の基本的性質 (3) 地中の応力 (2) 土の浸透性	

# 学 習 ・ 教 育 目 標

本校では次の6つの学習・教育目標を設定していますが、これらは「豊かな人間性の涵養」、「工学知識・技術の修得」、「地域社会への貢献」、「コミュニケーション能力の習得」の4つの骨格からなり、これらを有機的に結びつけているのが本校の伝統となっている校訓「誠実・進取・協調」であり、精神的支柱の役割も果たしています。6つの学習・教育目標は、講義、演習、実験・実習、卒業研究・特別研究、校外実習・学外研修などカリキュラムを基礎とする教育活動で十分な達成が図られます。学習・教育目標の達成を可能にするため目標ごとに具体的な行動基準をそれぞれ設定しており、学習に取り組む際のめあてにしております。

## A．豊かな人間性の涵養

国際的視野に立ち、地球環境や人類社会に及ぼす技術の影響を理解し、またその責任を自覚できる、誠実で健全な心身を養う。

## B．工学知識・技術の修得

(B-1) 数学、自然科学の基礎知識と実験・測定技術および情報処理技術を修得し応用できる。

(B-2) 得意とする専門分野の知識と技術を修得し、「連峰型教育」を活かした複合的専門基礎知識も身につける。

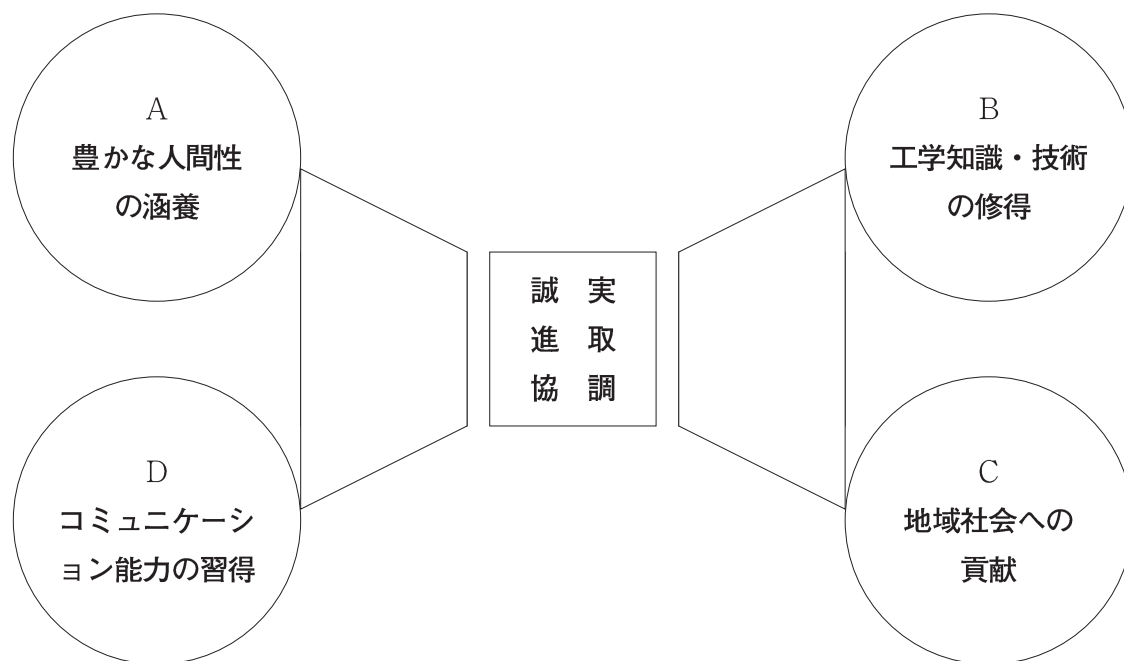
## C．地域社会への貢献

(C-1) 協調性を発揮し、技術を創造・開発またはシステム化できるデザイン能力とものづくり能力を修得する。

(C-2) 北東北の重点課題であるエネルギー、環境の問題に関心を持ち、それらの課題に積極的に取り組む、進取の姿勢を身につける。

## D．コミュニケーション能力の習得

意思を明晰に相互伝達する日本語力と、国際社会に対応できる英語基礎力を身につける。



八戸高専 学習・教育目標 (J A B E E対応)

## 産業システム工学プログラムの履修

本校では、本科4、5年生および専攻科1、2年生を対象とし、4学科3専攻を一体とした複合的工学教育プログラムである産業システム工学プログラムを設定しています。このプログラムの学習・教育目標は前頁に示した学習・教育目標と同一です。

本校本科からの専攻科入学者は、4・5年における学習・教育目標別達成度がすべての目標に対して60%以上を達成しておく必要があり、これによって本教育プログラムの最終的履修者として登録されます。また、他の教育機関から本校専攻科に入学した者も同様に本プログラムの履修者として扱われます。本校が設定する教育プログラムの履修者となることを了解のうえ応募してください。

なお、本教育プログラムは平成16年に「日本技術者教育認定機構（JABEE）」の審査を受けました。その結果、同機構の基準を満たし、国際的水準にあるとの評価を受け平成17年5月に認定されました。入学後は、JABEE認定の教育プログラム履修者としての誇りを持って学習に励んでください。

### 産業システム工学プログラムの修了要件

- 1) 学位（学士）を取得すること。
- 2) 専攻科において62単位以上修得すること。ただし、「八戸工業高等専門学校専攻科授業科目の履修等に関する規則」第9条第1号の要件<sup>注1</sup>を満たすこと。
- 3) 本プログラムにおいて、124単位以上修得すること。
- 4) 本プログラムにおいて、1,600時間以上（1時間は正味60分）の総授業時間を経験していること。ただし、このうち250時間以上の人文・社会科学等（語学含む）、250時間以上の数学・自然科学・情報技術および900時間以上の専門分野を含むものとする。
- 5) 本プログラムにおけるプログラム構成を示す本校専攻科平成23年度シラバス別表2-1（平成23年度専攻科入学者）別表2-2（平成22年度専攻科入学者）<sup>注1</sup>において、総合評価方法に基づく評価基準を満たすこと。

注1：教育改善により修正される場合がある。

# 入 学 案 内

## 1. 本校の目的と性格

本校は「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること」を目的とし、中学校卒業程度を入学資格とする5年制の技術者養成のための高等教育機関です。

## 2. 創 設 昭和38年4月1日

## 3. 修業年限・学生定員等

本 科		機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	物 質 工 学 科	建 設 環 境 工 学 科	合 計
	修 業 年 限	5 年	5 年	5 年	5 年	——
	学 級 数	1	1	1	1	——
	入 学 定 員	40 人	40 人	40 人	40 人	160 人
	学 生 総 定 員	200 人	200 人	200 人	200 人	800 人
専 攻 科		機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻		物 質 工 学 専 攻	建 設 環 境 工 学 専 攻	合 計
	修 業 年 限	2 年		2 年	2 年	——
	学 級 数	1		1	1	——
	入 学 定 員	8 人		4 人	4 人	16 人
	学 生 総 定 員	16 人		8 人	8 人	32 人

※ 編入学者は第4学年に入学するので、本科修業年限は2年です。

## 4. 学科の紹介

### 〈機械工学科〉

各産業界におけるおよそ姿・形のある製品は、研究／開発・設計・製造の各段階において、いずれも機械技術を必要としています。

機械工学は、このように各種産業の基礎であると同時にその範囲も広く複雑です。さらに、近年の科学技術の進歩は、日進月歩です。

機械工学科では、従来の機械工学の分野を含め、エレクトロニクスを機械工学に応用したメカトロニクスなど急速な技術の進展に順応するための、基礎的な原理の修得はもちろんのこと、将来にわたって新知識を吸収し、独創的な考察を行うことができるように、十分な注意をはらって科目の履修、実験実習の指導に力を注いでいます。さらには、校外実習、工場見学、卒業研究を通して総合的な判断力、自主性、創造力が培われるように指導しています。

### 〈電気情報工学科〉

現代は、あらゆる産業や生活に急速に電気や情報の先端技術が入り込んでいます。電気情報工学科では、これらの先端技術を支える電気工学と情報工学の基礎を学習し、学生が将来広い分野で活躍できるようにしています。

電気系エンジニアの育成に加え、電気工学の基礎をもった情報系エンジニアの育成をも目指しています。

4・5学年では「電気電子工学コース」と「情報工学コース」に分かれ、主に次の五分野について学習することになります。これらの分野の基礎的な内容は両コースとも学習します。まず、①エネルギーの発生、輸送、消費までの過程、更にその周辺を学ぶ電力工学、②コンピュータを構成するLSIやテレビ・オーディオを構成するトランジスタ回路などを学習する電子工学（エレクトロニクス）、③ロボットのコントロール、メカトロニクスを学習する制御工学、④コンピュータと結合し知識の認知・処理にまで拡がりつつある情報通信工学、⑤コンピュータリテラ

シー( コンピュータ活用能力 )と情報科学の基礎を学習する情報工学です。これらのテクノロジーは、他の科学技術を刺激しつつ大きく躍動している分野です。

また、卒業研究においては「ニーズ」の把握、推論と分析等を通じて、創造性を養います。  
なお、属するコースは合格判定後、希望により決定します。

#### 〈物質工学科〉

優れた材料や有用な物質は、今や人間生活には欠かせないものになっています。たとえば、多様な合成繊維やタンパク質、各種金属、プラスチック、ゴム、セメント等は私たちの衣食住を支えています。また、液晶、炭素繊維、ニューセラミックス、半導体、光ファイバー、機能性膜など、最近次々登場してくる新素材は産業界に大きな変革を与え、私たちの日常生活や健康維持にも多大な恩恵をもたらしています。このような価値のある物質を生み出す中心的技術が化学技術です。

さらに生物学の進歩は今までの生物学と化学の境界を取り払いつつあります。これを利用したバイオテクノロジーは極めて複雑な物質でも、常温、常圧の温和な条件のもとで選択的に有用物質を私たちに供給してくれることがわかり、省資源、省エネルギー型の物質生産の道が切り開かれてきています。化学を中心にしためざましい技術革新に対応し、バイオに強いケミカルエンジニアの育成を目指して発展しています。

物質工学科では、物質の構造、変化、性質等、化学の基礎原理と細胞、遺伝子等の生物学の基礎を学習し、これらを応用して新たな材料やエネルギーを生み出すための方法を学びます。

編入学後は、材料化学、精密化学を主体とした物質コースに所属し、化学の応用分野を深く学習します。さらに校外実習や卒業研究にも力をいれており、地球に優しく広い視野をもち、創造性豊かなエンジニアに育つように導いています。

#### 〈建設環境工学科〉

社会基盤の整備と同時にその環境保全の目的をもつ建設事業は、あらゆる産業の基盤的役割を果たす公共事業の主体をなすものであります。新幹線・橋梁・ダム・海底トンネルなどの建設工事は、大型化に加えて技術の高度化の傾向にあります。一方では、自然環境の保全や快適な環境の創生のための技術も求められており、そのため官公庁や建設業界では、幅広い知識をもった有為の建設技術者を求める声がますます大きくなっています。

建設環境工学科では、環境の保全と再生、安全・安心で持続的発展が可能な社会の実現のための社会基盤整備を目指してきました。21世紀をむかえ都市や地方の社会・生活環境が大きく変わっていく中、地域住民に支持される社会資本を整備していくためには建築系のデザイン力も必要になっています。そこで本学科では平成21年度から建築系の授業をとり入れました。建設・防災・環境・計画・建築(デザイン)をキーワードとして、それぞれの分野に関する知識と技術を身に付け、創造力にあふれたものづくりに強い実践的技術者を育成するためのカリキュラムが用意されています。

### 5. 課 外 活 動

学生会には、下記のクラブ(部)があり、いずれも顧問教員等の指導のもとに活発な活動をしています。

文化系クラブ：科学・自動車工学・写真・音楽・吹奏楽・電子情報工学・華道手芸・美術・放送・演劇・インターナショナルフレンドシップ・総合デザイン  
体育系クラブ：陸上競技・バスケットボール(男・女)・バレーボール(男・女)・ソフトテニス・卓球・柔道・剣道・硬式野球・サッカー・水泳競技・テニス・バドミントン・ラグビーフットボール・ハンドボール・空手道・山岳・弓道

また、委員会としては文化委員会・体育委員会・行事委員会のほか高専祭実行委員会等があり、それぞれ自主的に運営しています。

さらに、ロボットコンテスト・プログラミングコンテスト・デザインコンペティション・英語プレゼンテーションコンテストなどに積極的に参加し、全国的に活動しています。

## 6. 学 寮

本校の学寮は、規律ある共同生活を体験する教育寮です。1・2学年男子は全寮制で、原則として全員が寮生活をするようになっていきます。編入学者を含め、3～5学年生・専攻科生男子及び女子については、希望者の中から選考して入寮を許可しています。

○ 学寮諸経費（平成23年度予定）

年 額 約 333,400円

内 訳	寄宿料(月額 700円)	8,400円
	寮生会費(年額)	3,000円
	学寮運営費(年2回)	約82,000円
	学寮給食費(月額 約20,000円)	約240,000円

## 7. 編入学時に要する経費（予定）

- (1) 入 学 料 84,600円
- (2) 授 業 料 前期分 117,300円（年額 234,600円）
- (3) 教 科 書 約 30,000円（学科により多少違います。）
- (4) 作業衣、作業帽 約 7,000円（ 〃 ）
- (5) そ の 他 約 40,000円（ 〃 ）

※上記の額は改定される場合があります。

## 8. 入学料・授業料及び寄宿料免除等制度

- (1) 編入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。但し、倒産・リストラ等による場合は認められません。  
また、経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。
- (2) 経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。
- (3) 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が困難であると認められる場合は、寄宿料を免除する制度があります。

## 9. 奨学金制度

人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により修学の困難な者には、選考のうえ日本学生支援機構等の奨学金が貸与されます。なお、本校では約34%の学生が奨学生として採用されています。

○ 本校における奨学生の現況

奨学生の種類			貸 与 月 額				奨学生数 (平成22年度)
			本科1～3学年		本科4・5学年および専攻科生		
日本 学生 支援 機構	第一種 奨学生	自 宅	21,000円	または 10,000円	45,000円	または 30,000円	276人
		自宅外	22,500円		51,000円		
	第二種奨学生		30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円から選択				
その他の奨学生			地方公共団体、交通遺児育英会など				28人
合 計							312人

（注）編入学生の貸与月額は、上記の4・5学年に該当します。

## 10. 卒業後について

### (1) 卒業後に取得できる主な資格

本校を卒業すると工業関係技術者等の各種資格が取得できます。その主な資格は次のとおりです。

#### ● 各学科共通

- 卒業と同時に高等専門学校の手(教員)となる資格が得られます。
- 卒業と同時に公認会計士の第1次試験が免除されます。
- 卒業と同時に法律学又は経済学の単位修得者は、税理士試験の受験資格が得られます。

#### ● 機械工学科

- 卒業後6月以上整備作業に関する実務経験を有する者は、三級自動車整備士の受験資格が得られます。
- 卒業後4年以上発電用のボイラー、蒸気タービン、ガスタービン又は燃料電池設備(最高使用圧力が18キロパスカル以上のもの)工事等の実務経験を有する者は、第2種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。
- 卒業後圧力5880キロパスカル以上の発電用のボイラー又は蒸気タービン工事等の実務経験4年以上を含む8年以上の実務経験を有する者は、第1種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。

#### ● 電気情報工学科

電気情報工学科の教育課程において、特に定められた科目を修得した者については、次の資格が得られます。

- 電気主任技術者第3種認定校からの編入学者であって、本校卒業後2年以上電圧500ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、経済産業大臣に申請し、審査を受けることにより第3種電気主任技術者免状が得られます。
- 卒業後5年以上電圧1万ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、第2種電気主任技術者免状が得られます。

#### ● 物質工学科

- 卒業後6ヶ月以上危険物取扱の実務の経験を有する者は、甲種危険物取扱者試験の受験資格が得られます。
- 卒業と同時に火薬類製造保安責任者試験の受験資格が得られます。

#### ● 建設環境工学科

- 測量に関する科目を修めた者は、卒業と同時に測量士補となる資格が得られます。また、卒業後3年以上測量の実務経験を有する者は、測量士となる資格が得られます。
- 卒業後2年以上土木工事の実務経験を有する者は、2級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。また、5年以上の実務経験を有する者は、1級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。
- 指定科目を修得し卒業した者は、2級・木造建築士試験の受験資格が得られます。また、2級建築士として設計その他の国土交通省令で定める実務の経験を4年以上有する者は、1級建築士試験の受験資格が得られます。
- 卒業後3年以上水力設備工事等の実務の経験を有する者は、第2種ダム水路主任技術者免状が得られます。また、高さ30メートル以上のダム工事等実務の経験5年以上を含む8年以上の実務の経験を有する者は、第1種ダム水路主任技術者免状が得られます。

### (2) 就職

本校卒業生の就職はきわめて順調です。

卒業生は、優良企業や官公庁に入り、前途有望な技術者としての評価を受けています。各企業からの求人数は多く、就職率100%です。

就職に当たっては、多年の実績を活かした指導が行われています。

● 求人就職状況（平成23年3月卒業者）

（ ）は女子内数を示す。

学 科 名	卒 業 者 数	就 職 希 望 者 数	求 人 数	就 職 者 数	求 人 倍 率	就 職 率
機械工学科	45(1)人	31(0)人	485人	31(0)人	15.6倍	100%
電気情報工学科	40(5)人	24(5)人	489人	24(5)人	20.4倍	100%
物質工学科	43(22)人	23(15)人	311人	23(15)人	13.5倍	100%
建設環境工学科	35(3)人	25(2)人	273人	25(2)人	11.0倍	100%
計	163(31)人	103(22)人	1,558人	103(22)人	15.1倍	100%

● 本校卒業生の主な就職先（平成20年度～22年度）

機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	物 質 工 学 科	建 設 環 境 工 学 科
(株)I H I (株)I H I エアロスペース エンジニアリング 青森オリンパス(株) N O K(株) 北日本造船(株) (株)クレオ コマツ(株)小松製作所) サントリープロダクツ(株) 三洋化成工業(株) 塩野義製薬(株) 新日本製鐵(株) 住友化学(株) 千葉工場 セイコーエプソン(株) 第一三共プロファーマ(株) ダイキン工業(株) 大正製薬(株) 大宮工場 (株)高橋製作所 中外製薬工業(株) 中発テクノ(株) (株)ツムラ 茨城工場 (株)電業社機械製作所 東北大学金属材料研究所 東京水道サービス(株) 東京電力(株) 東北電力(株) 日本原燃(株) 八戸製錬(株) 八戸製錬所 東日本旅客鉄道(株) (株)日立製作所 富士重工業(株) 富士ゼロックス(株) 本田技研工業(株) 三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所 三菱製紙(株) 八戸工場 (株)森精機製作所 森永乳業(株) 利根工場 レンゴー(株) 青森工場	アイフォーコム東北(株) 青森フジクラ金矢(株) エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株) (株)NTTファシリティーズ東北 (株)インテム オムロンフィールド エンジニアリング(株) (株)NHKメディアテクノロジー (株)O A 研究所 (株)アトックス (株)エム・ディ・エス (株)日産テクノ (株)リコー (株)日立エンジニアリング・ アンド・サービス キャノン(株) 旭光通信システム(株) COM電子開発(株) TDCソフトウェアエンジニアリング(株) サクサシステムエンジニアリング(株) スパイシーソフト(株) セコム(株) 総合警備保障(株) ソニーケミカル& インフォメーションデバイス(株) 大太平洋金属(株) 中発テクノ(株) 中部電力(株) 東亜石油(株) 東京電力(株) 東燃ゼネラル石油(株) 東北電力(株) トヨタテクニカル ディベロップメント(株) 日本原燃(株) 日本電設工業(株) 本田技研工業(株) 三菱重工業(株)	旭化成(株) 味の素(株) 川崎工場 出光興産(株) 宇部興産(株) 千葉石油化学工場 エブノンアミックス(株) 花王(株) (株)産業公害・医学研究所 八戸分室 (株)青森フジクラ金矢 (株)コーセー 狭山事業所 (株)ツムラ 茨城工場 環境保全(株) 関東化学(株) 極東石油工業(株) 三洋化成工業(株) 塩野義製薬(株) 新日本石油(株) 中央技術研究所 住友化学(株) 千葉工場 第一工業製薬(株) 第一三共プロファーマ(株) ダイキン工業(株) 大日精化工業(株) 中外製薬工業(株) 東洋インキ製造(株) 並木精密宝石(株) 青森黒石工場 日東電工(株) 東北事業所 日本原燃(株) 日本ゼオン(株) 川崎工場 日本たばこ産業(株) 富士フイルム ファインケミカルズ(株) 丸善石油化学(株) 三菱製紙(株) 八戸工場 明治乳業(株) 森永乳業(株) 理研ビタミン(株)	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株) (株)T T K (株)岩沢測量コンサル (株)エヌ・ティ・ティ エムイー (株)大湊精電社 (株)NIPPOコーポレーション (株)クリタス (株)千代田コンサルタント (株)日建技術コンサルタント (株)ピーエス三菱 建装工業(株) 国土交通省東北地方整備局 五洋建設(株) サクサシステムエンジニアリング(株) 社団法人 東北建設協会 大豊建設(株) 東亜建設工業(株) 東京電力(株) 東北電力(株) 日本原子力発電(株) 八戸臨海鉄道(株) 東日本高速道路(株) 東日本旅客鉄道(株) 富士通(株) 前田道路(株) 横河工事(株) 東京都職員 八戸市職員 宮城建設(株) (株)竹中土木 (株)田名部組 八戸市水道企業団 仙台市職員

### (3) 進 学

高専卒業生は技術者としての十分な素養を備えて、直ちに実社会に入って活躍する者が多い。

本校を卒業後、さらに勉学を続けたい学生は、高専の専攻科や大学の3年次へ進む道があり、本校でも2002年4月に専攻科が設置されました。高専専攻科(2年間)は大学よりも学費が安く、大学3年次への編入学と同様に学士への道が開かれています。

また、専攻科修了後は大学院に進むことができ、本校卒業生の進学者は増える傾向にあります。

#### ● 学士取得可能な国立高専専攻科と編入学制度を実施している主な国立大学一覧

高 専 専 攻 科	関 東 地 区	中国・四国・九州地区
八戸高専専攻科 一関高専専攻科 仙台高専専攻科 秋田高専専攻科 鶴岡高専専攻科 福島高専専攻科 他 多数	茨城大学 筑波大学 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 千葉大学 東京大学 東京農工大学 東京工業大学 電気通信大学 横浜国立大学	鳥取大学 島根大学 岡山大学 広島大学 山口大学 徳島大学 香川大学 愛媛大学 高知大学 九州大学 九州工業大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学
北 海 道 地 区	中 部・近 畿 地 区	
北海道大学 北海道教育大学 室蘭工業大学 帯広畜産大学 北見工業大学	新潟大学 長岡技術科学大学 富山大学 金沢大学 福井大学 山梨大学 信州大学 岐阜大学 静岡大学 名古屋大学 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 三重大学 京都大学 京都工芸繊維大学 大阪大学 神戸大学 和歌山大学	
東 北 地 区		
弘前大学 岩手大学 東北大学 秋田大学 山形大学 福島大学		

平成24年度編入学者選抜検査

編入学願書

八戸工業高等専門学校

志願者	志学 フリガナ	工学科	受番 ※
氏名	フリガナ	平成 年 月 日生	男・女
現住所	(〒 ) TEL ( ) -		
履歴	年 月 立 中学校卒業 ※		
	年 月 ※		
	年 月 ※		
	年 月 ※		
	年 月 ※		
在籍(出身)高等学校	立 高等学校	科	
所在地	平成 年 月 卒業見込・卒業		
氏名	(〒 ) TEL ( ) -	志願者との続柄	
現住所	(〒 ) TEL ( ) -		

- (注) 1 ※欄は記入しないでください。  
2 該当箇所は○で囲んでください。  
3 志願書の氏名は必ず自署してください。

平成24年度編入学者選抜検査

写真票

八戸工業高等専門学校

受検番号	※
志望学科	工学科
フリガナ	男・女
氏名	平成 年 月 日生
在籍(出身)高等学校	

写真貼付

平成23年6月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽、縦6cm×横4.5cmの大きさのものを貼付してください。

- (注) 1 ※欄は記入しないでください。  
2 該当箇所は○で囲んでください。

平成24年度編入学者選抜検査

受検票

八戸工業高等専門学校

受検番号	※
志望学科	工学科
フリガナ	男・女
氏名	平成 年 月 日生
在籍(出身)高等学校	

学力検査及び面接時間割

日	8月23日(水)
時間	9:00～9:50 作文
	10:00～11:00 英語
	11:10～12:40 数学
	13:30～15:00 専門科目
	15:10～ 面接

- (注) 1 ※欄は記入しないでください。  
2 該当箇所は○で囲んでください。  
3 裏面の「受検者心得」をよ読んでください。

(切り離さないでください)

(切り離さないでください)

## 受 検 者 心 得

1. 受検者は、検査当日 8 時30分までに指定された検査室に入室してください。上履きは不要です。
2. 受検中は、受検票を机の右上においてください。
3. 机上には、受検票・鉛筆・消しゴム  
・鉛筆削り・直定規・コンパス以外のものは置かないでください。
4. 受検中の途中退室はできません。

平成 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

学校名

校長名

印

## 推薦書

下記の者は、貴校の教育に適し、かつ、入学の意志が強固な者と認められるので推薦します。

氏名		※ 受検番号	
(推薦所見)			

(注) 推薦所見は、人物・能力・適性等具体的に記述してください。

平成24年度入学者選抜検査

入学検定料領収書・受付証明書貼付票

八戸工業高等専門学校

種 類	学 科 名	氏 名
編入学		

※ 銀行の出納印のあるC票「入学検定料領収書・受付証明書」の裏面全面にのりをつけて貼り付けてください。

# 入学検定料の納入について

1. 入学検定料は、必ず下記の本校指定の「入学検定料振込依頼書」を利用ください。なお、振込の際は別途手数料が必要となります。
2. 入学検定料の振り込みは、下記振込用紙のA票・B票・C票の「志願者」欄を記入のうえ、銀行等（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口にて振込み願います。ただし、ATMからの振込はしないでください。
3. C票の「入学検定料受付証明書」は、「入学検定料受付証明書貼付票」に貼付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。
4. 納入期間 平成23年7月11日(月)～平成23年7月29日(金)まで

本件に関する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0178-27-7228

## A票

### 入学検定料振込依頼書

八戸工業高等専門学校

ご依頼日	平成	年	月	日	電 信 扱
振込先 青森銀行 八戸支店	預金種目	口座番号	入学検定料		
		2005038	¥	16500	円
受取人	コウセンキコウホンプ				振込手数料
フリガナ	独立行政法人国立高等専門学校機構本部				出 納 印
氏名	出納命令役 事務局長 後藤 宏平				
フリガナ					
氏名	(〒 - - )				
志願者	住所				(TEL - - )

## B票

### 入学検定料振込通知書

八戸工業高等専門学校

依頼日	平成	年	月	日	円
振込先 青森銀行八戸支店	入学検定料				円
	¥	16500			
受取人	コウセンキコウホンプ				
フリガナ	独立行政法人国立高等専門学校				
氏名	機構本部 出納命令役 事務局長 後藤 宏平				
フリガナ					
氏名	(〒 - - )				
志願者	住所				(TEL - - )

## C票

### 入学検定料領収書・受付証明書

八戸工業高等専門学校

依頼日	平成	年	月	日	円
振込先 青森銀行八戸支店	入学検定料				円
	¥	16500			
受取人	コウセンキコウホンプ				
フリガナ	独立行政法人国立高等専門学校				
氏名	機構本部 出納命令役 事務局長 後藤 宏平				
フリガナ					
氏名	(〒 - - )				
志願者	住所				(TEL - - )
					振込手数料

#### ※ 取扱金融機関へのお願い

1. 当日中に取扱いただくようお願いいたします。
2. 出納印は、A・B・C票への3カ所にもれなく押印してください。
3. B票は、取りまとめ店を経由して八戸工業高等専門学校へ通知願います。
4. C票は、必ず志願者（振込人）にお返しください。

出 納 印
-------

出 納 印
-------





80円切手

貼 付

(志願者氏名)

(住所)

受検票在中

殿

平成 年 月 日

# 八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係

〒039-1192 八戸市田面木字上野平16-1

TEL (0178) 27-7234

FAX (0178) 27-9487

メールアドレス kyomu-o @hachinohe-ct.ac.jp